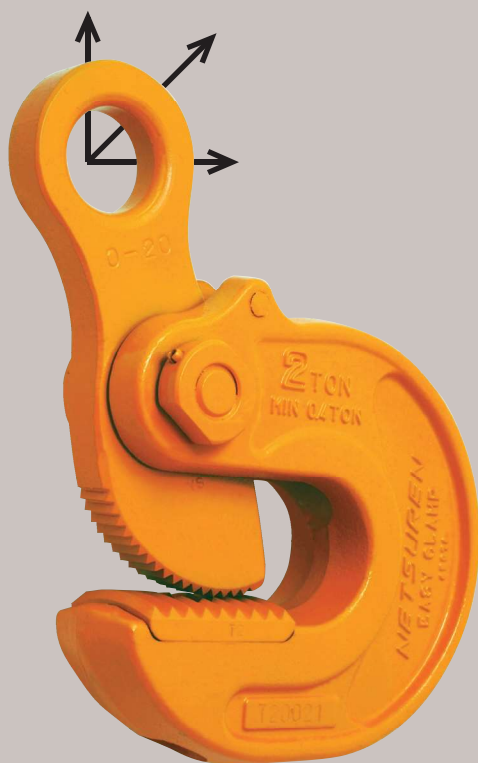
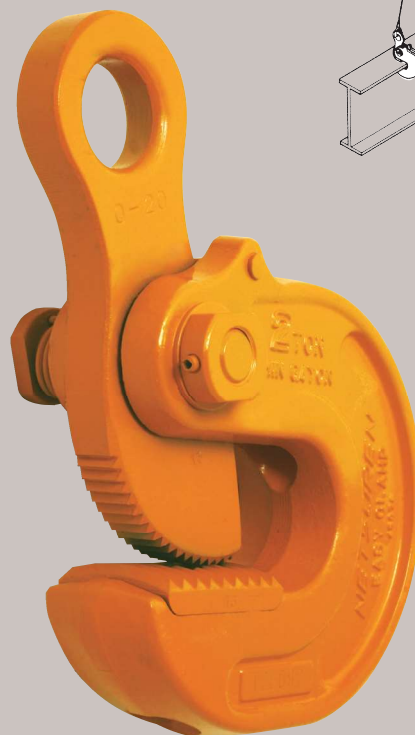


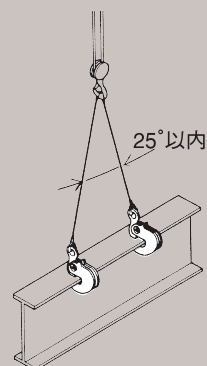
イー ジー EASY型 横吊クランプ



EASY-O型



EASY-S型



EASY型の使用方法

1. EASY型クランプによる玉掛作業は、右図の正しい吊方(A)・(B)・(C)・(D)・(E)を参照に正しい作業を行ってください。
2. (A)・(B)の吊方で、1点吊(原則としてワイヤロープは2本通す)の場合、吊荷の長さは2m以内とし、必ずバランスのとれた重心上を吊ってください。(偏芯すると危険です。)
3. (C)の吊方のように、吊荷が2m以上の場合は、2点吊とし、必ず角度吊又は、天びん吊で作業してください。(バランスがよく安全です。)
4. (D)・(E)の吊方のように、堅吊に近い場合は吊荷の制限を受けますので、横吊の80%に基本使用荷重の選定を行ってください。(安全係数が低下します。)

⚠ 危険

1. EASY型クランプは、右図の正しくない吊方(F)・(G)・(H)は危険ですから絶対にしないでください。
(特に、(F)・(G)の吊方は、カム軸芯と吊環穴が一線上になってクランプ力が発生しません。)
2. (H)の吊方は厳禁です。

● 正しい吊方				
A	B	C	D	E
1～2点吊 (形鋼横吊)	1点吊 (形鋼横吊)	天びん吊 (形鋼横吊)	1～2点吊 (構造物堅吊)	1～2点吊 (鋼板堅吊)

＜使用例＞



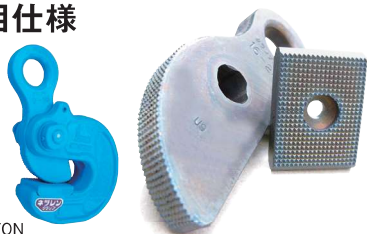
✗ 正しくない吊方		
F	G	H
1～2点吊 (引掛吊)	天びん吊 (鋼板横吊)	2点角度吊 (形鋼横吊)

特 長

- ① アングル・チャンネル・アイビームとその構造物の専用吊として、吊作業の高能率が約束されるEASY（簡単）なクランプです。
- ② 荷重増加に応じて強い力がかみこむ構造になっています。
- ③ 受金はアール状になっており、角度吊の際、本体にかかるねじれ力が少なく無理がありません。
- ④ S型はカム軸にねじりコイルばねが装着されており、
 - クランプを取り付けた際、手で支え持つ手間はいりません。
 - 一旦クランプした被吊上物が、着地して、ワイヤーがゆるみ荷重がゼロになってもクランプは、部材から外れることはありません。

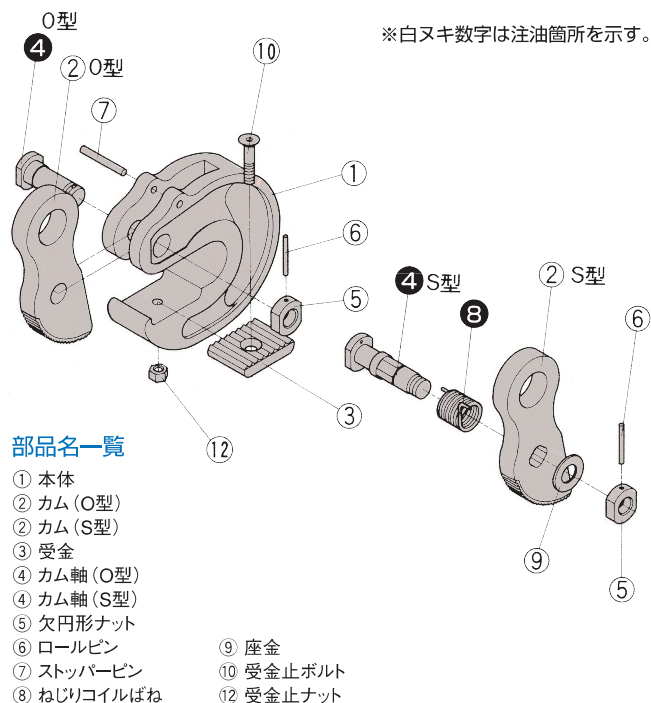
傷の目立たない細目仕様

1TON
2TON
3TON



※呼び方 (例)EASY-S型 細目仕様 1TON

分 解 図

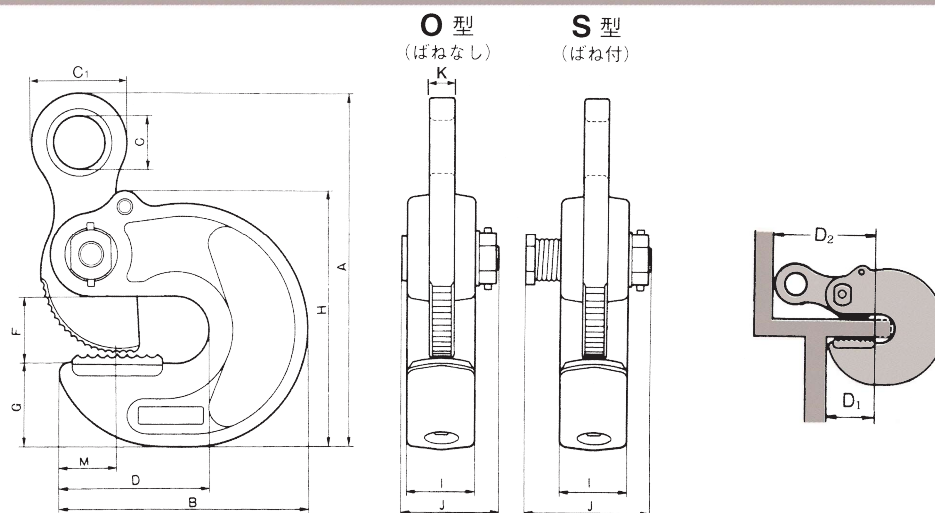


部品名一覧

- ① 本体
- ② カム(O型)
- ③ カム(S型)
- ④ 受金
- ⑤ カム軸(O型)
- ⑥ カム軸(S型)
- ⑦ 欠円形ナット
- ⑧ ロールピン
- ⑨ ストッパーピン
- ⑩ ねじりコイルばね
- ⑪ 座金
- ⑫ 受金止ボルト
- ⑬ 受金止ナット

仕様・寸法図

EASY 型



(mm)																	
基本 使用荷重	クランプ範囲 minmax	型式	くねえ深さ最小寸法		A	B	C	C ₁	D	F	G	H	I	J	K	M	自重 (kg)
			D ₁ (下)	D ₂ (上)													
1/2 TON	0~16	S型	45	100	128	106	20	40	68	26	30	96	25	50	10	25	1.2
1 TON	0~16	O型	50	102	156	124	24	46	68	24	37	114	30	43	12	26	2.4
		S型												60			2.5
2 TON	0~20	O型	65	135	201	152	30	56	89	38	48	147	40	55	16	34	4.1
		S型												73			4.2
	16~28	O型												55			4.1
		S型												73			4.2
3 TON	10~40	O型	72	170	275	190	36	72	110	60	65	198	45	60	18	40	7.7
		S型												88			7.8
	25~45	O型												60			7.4
		S型												88			7.5

※呼び方 (例) イージークランプ 1TON (16-S型)
(例) 部品イージークランプ 2TON (20-S型) カム